

■ 農作物の生育状況と今後の対策等

平成29年12月20日
三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 小麦

(1) 生育状況

11月20日現在の生育観測ほ（八戸市市川）の生育は、草丈、茎数とも概ね平年並みである。

表1 小麦生育観測ほの生育調査結果 地点：八戸市市川町 品種「ネバリゴシ」

	11月20日調査	
	草丈(cm)	茎数(本/m ²)
本年	14.1	483
前年	11.3	320
平年	15.3	501

(2) 今後の対策・指導等

幼穂形成期（3月下旬～4月上旬）に追肥をする。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育、作業の状況

秋掘り作業は平年並みに始まり、12月中旬でほぼ終了した。品質は概ね良好である。

2 いちご

(1) 生育、作業の状況

表2 いちご生育観測ほ（促成栽培）の生育調査結果（12月7日調査）

地点：八戸市市川町

種名	年度	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)	クワン径 (mm)
とちおとめ	本年	22.1	14.8	11.5	9.3	17.1
	平年	18.7	9.4	7.3	6.1	15.4
	平年比	118%	157%	158%	152%	111%
さちのか	本年	19.9	14.5	8.4	6.2	17.2
	平年	15.5	10.6	7.0	5.4	17.1
	平年比	129%	136%	120%	115%	101%

※とちおとめ：定植日 8/23 さちのか：定植日 8/23

※※「とちおとめ」の平年：平成15～28年

※※「さちのか」の平年：平成18～28年、平成28年から担当農家に変更

ア. 生育観測ほ（促成栽培）では、「とちおとめ」「さちのか」ともに草高、葉柄長、小葉長、小葉幅は平年より上回っており、生育は平年より進んでいる。

イ. 一般ほ場では、全ての作型で生育は進んでおり、促成栽培では頂花房の収穫中で、収穫物の品質は概ね良好である。普通栽培では、頂花房が開花～着果始めである。半促成栽培では11月下旬から保温が始まっており、生育は順調である。

ウ. 病害虫では、うどんこ病の発生が見られているが、気温の低下と共に発生が少なくなっている。

(2) 今後の対策・指導等

ア. 適正な温度管理を実施する。

イ. うどんこ病やハダニ類等の病害虫防除を徹底する。